

2026 まちづくり協働コーディネーター (旧まちづくりアドバイザー) 活動事例集

- 【地域自治推進室1】 (担当：大見謝 将五)
まざりあい創出の場づくりを支える「うっかり研究室」 - 1 -
各職員の事業推進サポート
- 【地域自治推進室2】 (担当：田村 祥代)
「令和の自治会・町内会 アップデート意見交換会」開催 - 2 -
「地域コミュニティHub (ハブ)」HP作成
- 【北 区】 (担当：大見謝 将五)
北区地域福祉横断シンポジウム「キタ区コレカラ」 - 3 -
区民交流スペース活用プロジェクト
- 【上 京 区】 (担当：亀村 佳都)
春の新年度まちづくり活動応援フェア - 4 -
令和7年度「おこしやす上京 Season3 -上京の生活に触れる-」
- 【左 京 区】 (担当：吉田 泰基)
京都学藝衆構想「社寺建築フィールドワーク」 - 5 -
岩倉図書館の活用方法を考える意見交換会の開催
- 【中 京 区】 (担当：松井 朋子)
清掃活動を中心として交ざり合ってたくさんの活動をつなぐ交流会 - 6 -
デジタル回覧板 管理者情報交換会
- 【東 山 区】 (担当：田部井 智)
「東山の未来」区民会議のWS 設計支援 - 7 -
東山区の組織力向上に向けた職員対話型ワークショップ
- 【山 科 区】 (担当：谷 亮治)
まちづくりチャレンジ応援事業 - 8 -
自治会・町内会相談対応

【下 京 区】	(担当：浅田 真実)	
下京区まちづくりサポート事業『SHIMOGYO+GOOD』		- 9 -
下京区まちづくり運営方針の策定		
【南 区】	(担当：佐藤 友一)	
「あつまれ！みんなのカフェ」の開催		- 10 -
区 Hub 実務者会議開催のサポート		
【右 京 区】	(担当：大谷 穂高)	
「SANSА 交共プロジェクト」		- 11 -
「ジュニア円卓会議」		
【西 京 区】	(担当：西原 秀倫)	
西京図書館と連携した、新たなつながり・交流の場づくり		- 12 -
西京区の魅力発信プロジェクト「にしていす」		
【西京区洛西支所】	(担当：木村 響子)	
洛西納涼祭「Bamboo Bon Dance」		- 13 -
つなぐ・つながる「大原野」づくりプロジェクトの支援		
【伏 見 区】	(担当：朝倉 眞一)	
区民活動の広がり、つながりづくりに向けたサポート		- 14 -
区役所と地域のつながりづくりのサポート（区 Hub の取組）		
【伏見区深草支所】	(担当：小林 明音)	
深草地域コミュニティ Hub		- 15 -
E-TOKO 深草		
【伏見区醍醐支所】	(担当：山田 大地)	
醍醐まちづくりカフェ		- 16 -
だいが子育てオープンデイ		

【地域自治推進室 1】

まざりあい創出の場づくりを支える「うっかり研究室」

【事業概要】

「地域コミュニティ Hub」事業を担う区役所・支所の職員が、地域のまざりあいを創出するための「場づくり」を企画コーディネートできるようになることを目的とした研修づくりを支援しました。

また、場づくりの実践としては市役所の階段を活用したイベント「階段でかいだん」では、天体観測を行う地域住民、ティラノサウルスレースを行う事業者をつなぎ、職員の企画運営をサポートしました。



【役割／関わり方】

職員に向けた研修設計から OJT としての実践サポートまで

⇒事業に対する職員の理解を深めるための研修づくりのアドバイス、当日の進行補助を担当しました。

⇒事業を推進するための情報共有として、区役所・支所や事業者の間に立ち、円滑なコミュニケーションを心がけた中間支援をしました。

⇒場づくりの実践としてのイベントの設計、各職員の企画運営のサポートをしました。

各職員の事業推進サポート

【事業概要】

京都市食育指導員を対象とした研修における交流（ワーク）の設計から、指導員の活動領域拡大を目的とした相談会「ひろがるカフェ」の企画・運営を行いました。ネーミング・チラシ・資料作成も含め一貫してサポートしました。

また全市役所職員が参加できる部署横断型のプロジェクト「まちづくり DAO+」においては、「銭湯×まちづくり」チームの冊子（ZINE）を活用した情報発信と場づくりを進めるため、記事の企画編集やイベントづくりを支援しました。

どちらの事業も「地域コミュニティ Hub」と接続していく活動支援として関与しました。



【役割／関わり方】

領域を横断し、まざりあいを創出するための企画運営補助

「ひろがるカフェ」における食育指導員の学びや交流を促すための場の企画運営

冊子づくりにおける編集ディレクションの補助、場づくりの企画 OJT

他部署の職員を企画を通してつなげ、今後のまざりあいを促すコーディネート

この事業を担当したコーディネーター 大見謝 将五

【地域自治推進室 2】

「令和の自治会・町内会 アップデート意見交換会」開催

【事業概要】

地域コミュニティサポートセンターでは、自治会・町内会に関するサポートを行っています。今年度、市内の自治会長から「活発に活動している他の自治会と意見交換したい」というお声をもらったことをきっかけに、「令和の自治会・町内会 アップデート意見交換会」を試験的に開催しました。

当日は、積極的に自治会運営等に取り組む方々が参加し、具体的な意見交換が行われました。高齢化と担い手不足が叫ばれる中でも、地域への思い溢れる担い手の方々が確かに存在することが分かり、今後の継続開催に向けた貴重な一歩となりました。



HPはこちら⇒



【役割／関わり方】

市民ニーズの吸い上げ、企画、事前ヒアリング、当日運営までの一連の業務

- 市民ニーズをもとに、実現可能で課題解決につながるよう企画立案
- 当日の意見交換を深めるために、申込者に事前ヒアリングを実施
- 当日の場づくり、ファシリテーション、アンケート実施

「地域コミュニティHub(ハブ)」HP作成

【事業概要】

京都市役所では今年度から、人と人をつなぐ結節点となり、全ての人に「居場所」と「出番」を創出するため、「地域コミュニティHub」を設置しています。

この取組を市民の皆さんに分かりやすく伝えるために、HPでの情報発信を行いました。インタビュー取材を重ねて記事にしたことで、言葉を紡いで初めて見える物事（成果）を可視化しました。



HPはこちら⇒



【役割／関わり方】

HP企画提案、インタビュー実施、記事執筆など、HP公開までの一連の業務

- ページ内容の企画、検索キーワードの設定、メインイメージ画像作成
- 市民の方や職員等にインタビューを実施、記事執筆
- 写真やイラスト画像を添えながら、読みやすいようにページ作成

この事業を担当したコーディネーター 田村 祥代

北区地域福祉横断シンポジウム「キタ区コレカラ」

【事業概要】

北区社会福祉協議会がこれまで主催してきたシンポジウムを今年度から刷新。社協関係者の福祉分野の人々が中心だった場を、まちづくり団体・大学関係者・地域住民・企業など多様な人々がまざり合う場へと大きく転換しました。

令和7年度からスタートした「地域コミュニティHub」の取組みと連動し、分野を超えた新たなつながりやまざりあいを生むため、登壇者のトークセッションと参加者のディスカッションの場を創出しました。



【役割／関わり方】

場の企画立案、ワークショップ運営、広報におけるデザイン制作

⇒地域コミュニティHubの趣旨を踏まえた企画の立案・設計、登壇者の選定などの伴走支援をしました。

⇒中長期の視点での地域のまざりあいを生むためのつながり・対話づくりを目指し、ワークショップを設計・司会進行を行いました。

⇒シンポジウムとしての刷新を伝えるためのチラシ・資料などのデザイン制作を担当。参加者によりカジュアルに場を体感してもらうための空間（気持ちを軽くする→「風船」演出など、シカケづくりを担当職員と考案しました。

区民交流スペース活用プロジェクト

【事業概要】

北区役所本庁舎2階の「北区民交流スペース」を、より多くの地域住民の方に「ひらく」ための取組。老朽化した空間の環境整備（ハード）と、地域事業者と連携したイベントなどの企画づくり（ソフト）の両輪で進めました。

身近な交流拠点となることを目指し、ベンチや掲示板を設置し、職員や地域事業者がまざるオープンミーティングを開催しました。



【役割／関わり方】

事業設計におけるアドバイザー、地域事業者と職員の間支援

⇒職員の情報整理を支援し、交流スペースをどう活用するか of 構想づくりをサポートしました。

⇒地域事業者との個別調整を重ね、職員と事業者の間に立ちながらの協働プロジェクトの企画づくりを行いました。

⇒職員や地域事業者が集う小規模な交流会を開き、次年度への足掛かりとなる場づくりを進めました。

この事業を担当したコーディネーター 大見謝 将五

【上京区】

春の新年度まちづくり活動応援フェア

【事業概要】

上京区内における区民主体のまちづくり活動の活性化を目的に、地域のつながりや結びつきが生まれ、新たな活動の第一歩となるような場として、令和6年度から「春の新年度まちづくり活動応援フェア」を開催しています。

今年度は、まちづくりに関心のある区民を対象とした相談会を開き、まちづくり活動を既に行っている区民とこれから始める区民がつながり、交流できる場を企画・実施しました。

写真：大学生や社会人が参加した相談会の様子



【役割／関わり方】

事業の企画・運営の支援

- まちづくり活動に関心のある区民への周知
- 当日の運営支援
- 上京区民まちづくり活動支援事業や 2026 新春上京描き初め大会等関連するまちづくり活動支援の取組を含めた、年間を通じての企画支援

令和7年度「おこしやす上京 Season3 -上京の生活に触れる-」

【事業概要】

空き家や人口減少などの社会課題を踏まえて、上京区の暮らしの魅力や衣・食・歴史・文化などの視点で伝えることによって上京区における定住人口、交流人口、関係人口の増加に寄与することを目指す取組です。

今年度は、12月と3月に、上京での暮らしから感じる魅力を大学生の視点でも見つけ、広く発信することを目的に、区内の大学生等を対象とした西陣エリアと堀川商店街エリアのまち歩きを行い、地域の方と交流しました。

写真：「地域を知るのは面白い」と好評だったまち歩き



【役割／関わり方】

事業の企画・運営の支援

- 事前打ち合わせ・まち歩き当日における運営支援
- 上京ふれあいネット「カミング」での12月まち歩きレポートの作成
- 参加した学生とつながり、学生の興味・関心に合わせたまちづくり活動の情報を伝え、相談に乗る等のサポート

この事業を担当したコーディネーター 亀村 佳都

京都学藝衆構想「社寺建築フィールドワーク」

【事業概要】多様な文化を次世代に繋げる「京都学藝衆構想」の一環として、左京区では、社寺建築の匠を講師に迎え、大原地域でフィールドワークを行いました。

当日は大雪のなか、9名の方が参加され、午前中は座学で社寺建築の構造や見方などを学び、午後からは三千院往生極楽院と勝林院を巡りながら、実地で学びました。



参加者からは、座学で学んだ知識をすぐに実物で確認できてよかったことや、社寺建築の奥深さや日本の伝統技術の高さなどを知ることができたこと、学んだ知識をまわりの人にも語ってみたいとなったことなどの意見があり、大変好評でした。

【役割／関わり方】

事業全般のトータルサポート

- 社寺建築会社との事前打ち合わせ及びフィールドワーク先の下見同行
- 当日資料の作成・告知のサポート
- 当日フィールドワークの運営支援

岩倉図書館の活用方法を考える意見交換会の開催

【事業概要】岩倉図書館で令和7年春にリニューアルされたウッドデッキテラス等の活用方法について、9月に意見交換会を開催しました。

参加された地域住民や地元中学生、大学関係者、地域事業者などからは、テラスで野菜づくりや天体観測、ハロウィンイベントの開催、館内でBGMを流してほしいなど、さまざまな意見やアイデアが出ました。



中学生から意見のあった自習コーナーについては、2月から、部活がない毎週木曜日15～19時に、中高生を対象とした「木曜日の自習室」として実現しました。

【役割／関わり方】

事業全般のトータルサポート

- 意見交換会の企画構想案の作成
- 岩倉図書館等との事前打ち合わせ及び参加者のコーディネート
- 意見交換会の当日プログラム及び告知チラシの作成
- 当日の運営支援及びワークショップの進行

【中京区】

清掃活動を中心として交ざり合ってたくさんの活動をつなぐ交流会

【事業概要】 「中京 Hub」の取組のひとつとして、清掃活動を通して「きれいなまち」をみんなでつくり、より住みやすく活気ある中京区を目指しています。その一環で、まちなかで清掃活動に取り組む地域団体や事業者の皆様が交ざり合い、意見交換や情報共有を通じて連携を深めるための交流会を開催しました。「ゴミを拾っていて、気づくこと、感じること、課題」、「活動を通じて、やってみたいこと、ネットワークを生かしてやれそうなこと」について、地域団体、事業者等の活動内容や想いも含め共有しました。それがきっかけで木屋町通を清掃する活動が生まれ、毎月第1日曜日に継続的に実施されています。



【役割／関わり方】企画会議参加、ワークショップデザイン、当日ファシリテーター

- 清掃活動の経験や団体等の情報を共有。
- ごみゼロアプリの情報提供と勉強会の設定、お試し実施。
- ワークショップ全体のデザイン。
- 当日ワークショップの全体ファシリテーション。

デジタル回覧板 管理者情報交換会

【事業概要】 中京区では令和4年度に開始したデジタル回覧板促進事業が4年目を迎えます。これまで7学区でデジタル回覧板の運用が開始しました。各学区のデジタル回覧板は各管理者さんが試行錯誤しながら運用をされており、不安や悩みを抱えていることもありました。そこで工夫点や、悩み、課題を共有することで、運用されている団体全体の技術向上をめざす情報交換会を初めて開催しました。会場では、活発にアイデア、工夫点、課題点、意見、質疑が出され、今後のデジタル回覧板運営の参考にしていただけたと思います。加えて、今後デジタル回覧板を実施、検討する学区のための資料作成にも役立てるつもりです。



【役割／関わり方】企画、ワークショップデザイン、事前アンケート調査、当日進行、報告書作成、参加者へのフィードバック。

- 各学区のデジタル回覧板管理者への事前アンケート作成と記入依頼。
- アンケート結果を基とした、当日配布する資料の作成と当日進行のデザイン。
- 意見、課題、アイデア等と事前アンケートを取りまとめた報告書の作成。
- デジタル回覧板の運用を検討する団体向けの資料準備。

この事業を担当したコーディネーター 松井 朋子

【東山区】

「東山の未来」区民会議の WS 設計支援

【事業概要】

東山区では、区基本計画に代わる「まちづくり運営方針」策定に向け、区民の声を反映する「東山の未来」区民会議を開催している。令和 7 年度は、従来の意見聴取型から、参加者の生活実感に基づくエピソード対話型 WS へと設計を転換。区民が体験した具体的な出来事を起点に、表層の課題の裏にある構造的問題を浮かび上がらせることを目指した。



【役割／関わり方】

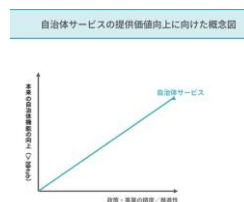
区民会議の WS 設計提案および区役所担当者への伴走支援

- 区長・事務局との三者ヒアリングを通じ、エピソード対話型の WS 設計を提案。
- WS 詳細設計（進行・ファシリ指針・成果シート）を策定し、事務局が当日資料へ展開できる素材として提供。
- 第 1 回実施後、ファシリ担当係長への FB を設計・実施し、第 2 回への改善示唆を抽出。

東山区の組織力向上に向けた職員対話型ワークショップ

【事業概要】

東山区の行政サービスの提供価値向上を目指し、企画連携課・市民総合窓口課・健康長寿推進課の3課の職員を対象に対話型ワークショップを全12回にわたり実施した。地域課題を構造的に捉え施策を組み立てる力を養うとともに、職員間の対話を通じて組織課題を共有する場として企画・運営。得られた知見をもとに区長との対話や個別業務の改善支援へと展開している。



【役割／関わり方】

ワークショップの企画設計・ファシリテーション及び組織課題構造化支援

- 全 12 回のワークショップの目的設定・プログラム設計・ファシリテーションを一貫して担当した。
- 成果をもとに組織課題を構造化したレポートを作成し、区長との対話の起点として活用した。
- 窓口業務の改善支援など、ワークショップを起点とした個別業務の改善にも展開している。

この事業を担当したコーディネーター 田部井 智

まちづくりチャレンジ応援事業

【事業概要】

山科区では、全ての人に「居場所」と「出番」があり、誰もが幸せを感じ、互いにつながり、支え合い、生きがいを持って活躍できるウェルビーイングなまちを実現する一助として、山科区内で新しく意欲的なまちづくりの活動にチャレンジをしようとする方を応援するため、本事業を実施しています。



令和7年度 「山科まちづくりチャレンジ応援事業」 募集案内

～山科でまちづくりに挑戦しようとするあなたを応援します！～

【役割／関わり方】

面談、事業視察を通じた支援

- 相談者・採択者が行う企画立案や事業実施への支援、パートナーとのマッチング
- 相談者・採択者を対象とした交流会の企画、ファシリテーション
- 制度改善に向けた課題の検討、立案

自治会・町内会相談対応

【事業概要】

山科区では、地域コミュニティ支援のため、自治会・町内会からの相談を積極的に受け付けています。今年度も、地蔵盆等の活動再開の仕方や組織の改編を志す自治会・町内会役員の方からのご相談が相次ぎました。

相談者に対応する際は、各地域の事情や背景、相談に至った経緯を丁寧に聞き取りつつ、相談者の方が目指す方向を実現するためにどんなことができるかを共に考えるというスタンスで関わらせていただきました。また、京都市政出前トークで自治会の由来や現代的な役割についてレクチャーも行いました。

自治会ってどういう組織？

辻中豊、ロバート・ベッカネン、山本英弘

『現代日本の自治会・町内会-第1回全国調査にみる自治力・ネットワーク・ガバナンス』

木鐸社、2009



【役割／関わり方】

自治会・町内会役員からの相談対応及び支援

- 相談内容の聴取、相談内容の分析及びそれに基づいた助言
- 助言に必要な資料のリサーチ、作成及び提案
- 出前トークでの資料作成、市民向けレクチャー

この事業を担当したコーディネーター 谷 亮治

【下京区】

下京区まちづくりサポート事業『SHIMOGYO+GOOD』

【事業概要】

下京区では平成 24 年度から下京をより暮らしやすく、安全で、魅力的なまちにすることを目的に、区民等が地域力をいかして主体的に行う活動を支援し、「参加と協働」による下京区基本計画の推進を図る「下京区まちづくりサポート事業」を実施しています。今年度は新規事業 23 件を含む 26 件を採択事業として決定し、支援してきました。



【役割／関わり方】

団体への申請支援から、審査会・採択団体等が参加する交流会の企画・運営までの全般サポート

- 申請相談の対応、採択団体の活動視察、マッチング等の支援
- 交流会の企画、プログラム構成などに関する助言、当日ファシリテーション
- 次年度の制度設計に向けた情報収集、提案、アドバイス

下京区まちづくり運営方針の策定

【事業概要】

下京区のまちづくりの方向性を示す「下京区まちづくり運営方針」（推進期間：令和 8 年度～5 年間）の策定に向けた意見聴取のため、啓発キャンペーンを実施しました。区内開催のマルシェにて、下京青少年活動センター「YOUTH STAND」のキッチンカーと連携したキャンペーンブースを出展する等の工夫を凝らすことで、多世代の方のご意見をいただくことができました。



【役割／関わり方】

企画立案から運営実施までのサポートとコーディネート

- まちづくり運営方針案への情報提供、アドバイス
- 意見聴取の場づくりに係る企画立案、連携機関との調整、コーディネート
- 当日の運営、全体調整

この事業を担当したコーディネーター 浅田 真実

【南区】

「あつまれ！みんなのカフェ」の開催

【事業概要】

南区のまちに興味・関心のある方やまちづくり活動を実践している方が集い、語り合い、つながることを目的とした交流カフェを2回開催。第1回は区運営方針作成における市民意見の聴取を兼ねて、「私が南区長なら〇〇します」というテーマでのディスカッションを行いました。第2回は中小企業家同友会南支部との共催で、「地域でつながるはじめての一步」をテーマに、参加者の「やりたい」「始めたい」などの思いをもとに対話を行いました。



第2回 対話の時間

【役割／関わり方】

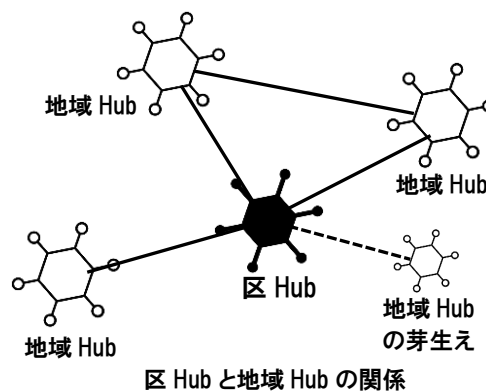
対話の方法の提案やプログラム設計、実施

- 目的に対して効果的な問いについて提案しました。
- プログラムの設計を行い、当日の対話の部分の進行を担いました。
- 参加者の今後の活動に活かせるよう、参加者同士が知り合う機会をできるだけ多く設けました。

区 Hub 実務者会議開催のサポート

【事業概要】

全ての人に居場所と出番があり、互いにつながり、支え合い、生きがいを持って活躍できるウェルビーイングなまちを目指すために、区役所を中心とした実務者の会議を継続して開催しています。会議では各学区における活動の状況の共有、統計データの読み解き、区役所における居場所の創出実験などを実施し、区 Hub が有効に機能するよう取り組んでいます。



区 Hub と地域 Hub の関係

【役割／関わり方】

資料提供やディスカッションへの参加

- 区役所が中心となる Hub だけでなく、それぞれの地域においてすでに存在するコミュニティが Hub として機能すること、またその Hub を増やし、区 Hub と連携することの重要性について整理しました。
- 統計データの読み解き方の例を示しました。
- 今後の地域の担い手として期待できる人材や動きに注目しながら、地域の状況の共有を行いました。

この事業を担当したコーディネーター 佐藤 友一

【右京区役所】

「SANSA 交共プロジェクト」

【事業概要】

右京区総合庁舎である「SANSA 右京」のイメージアップ・来庁者の満足度向上を目指し、多様な主体と連携しながら様々な社会実験を行う「SANSA 交共プロジェクト」が令和 7 年度より始動。職員の有志チームによる社会実験（小さな実験）に加え、3 月に実施した「SANSA OPEN WEEK」（3/3～3/7）では、公民連携の社会実験を 11 件実施。参加者は延べ 400 名を超える。



【役割／関わり方】

事業設計・プロジェクトリーダー

- KYOTO CITY OPEN LABO の活用を提案し、区役所を舞台にした公民連携での社会実験を実施。
- 有志の職員によるプロジェクトチームの立ち上げを提案し、立ち上げ後はプロジェクトリーダーを担当。企業や学生等の多様な主体と連携し、パブリックビューイングやクリスマスイベント、映画上映会など、計 17 件の社会実験を実施。

「ジュニア円卓会議」

【事業概要】

区内在住の中高生により構成され、様々な地域活動等に参加しながら、子どもたちの目線から右京区のまちづくりについて考え活動する「ジュニア円卓会議」のプログラム設計をサポート。夏には「立命館大学神社仏閣ボランティアガイド」の皆様による、ジュニア円卓会議メンバーを対象とした「仁和寺ガイドツアー」を実施し、大学生との交流の機会を創出した。



【役割／関わり方】

プログラム設計のサポート・フィールドワーク回のコーディネート

- 全 4 回のプログラムの設計をサポート。
- フィールドワーク回では「立命館大学神社仏閣ボランティアガイド」様との連携を提案し、ご依頼。当日のガイドを務める大学生の皆様ともコミュニケーションを取りながら、当日のプログラムを設計。

この事業を担当したコーディネーター 大谷 穂高

【西京区】

西京図書館と連携した、新たなつながり・交流の場づくり

【事業概要】

西京図書館の休館日にも読書に親しめる環境をつくるため、毎週火曜日に西京区役所・区民交流ロビーに図書館おすすめ本コーナーを設置する「ちゅ〜ず Day Library」を開始しました。

また、図書館を拠点に、本棚づくりワークショップの開催や、期間限定のカフェ・テラス席の設置などを行い、読書をきっかけに人が集い、交流が生まれる場づくりに取り組みました。

これらを通じて、図書館と区役所、地域住民、活動団体等の新たな関わりや愛着を生み出すことを目指しました。



【役割／関わり方】

事業の企画・運営を支援

- 西京図書館等との調整及び参加団体のコーディネート
- 連携に向けた企画立案及び取組の伴走支援
- イベント及びワークショップの企画・進行支援
- 交流機会の創出や、サードプレイス化に向けた空間構成の助言

西京区の魅力発信プロジェクト「にしてみたら」

【事業概要】

西京区内のカフェ・ベーカリー約 60 店舗と連携し、地域の魅力を区内外に発信するプロジェクト「にشتهらす」を展開しました。

各店舗に“たけにょんラック”を設置し、地域イベントやまちづくりの取組などの情報発信を行うとともに、区役所や嵐山駅前でのイベント出店などを通じて地域の魅力を発信しました。

また、嵯峨美術大学と連携し、フリーペーパーの制作・配架を行うなど、地域の事業者や大学との協働による新たな取組が生まれました。



【役割／関わり方】

事業の企画・運営を支援

- 参画店舗との連携調整及びネットワークづくりの支援
- 情報発信の仕組みづくり（HP・MAP・たけにょんラック設置等）の企画支援
- 嵯峨美術大学等との連携コーディネート
- イベント出店や広報企画の調整・伴走支援

この事業を担当したコーディネーター 西原 秀倫

【西京区洛西支所】

洛西納涼祭「Bamboo Bon Dance」

【事業概要】

洛西支所では、令和8年度に迎える「洛西ニュータウンまちびらき50周年」を見据え、地域の絆を深める夏祭り「洛西納涼祭『Bamboo Bon Dance』」を開催し、約4000名の参加がありました。竹で装飾したやぐらや幻想的な竹あかりを地域住民やボランティアが力を合わせて制作し、多世代の住民が参加した祭りとなりました。



【役割／関わり方】

地域資源を生かした、洛西ならではの新たな取組に向けて、以下を実施しました。

- 洛西地域で活動を展開したい関係機関とのコーディネート
- 大枝音頭や洛西ニュータウン音頭などの洛西ゆかり文化のリサーチ
- 洛西“SAIKO”サポーターの巻き込みや、当日の運営サポート

つなぐ・つながる「大原野」づくりプロジェクトの支援

【事業概要】

なんやかんや「大原野」推進協議会では、大原野「地域ブランド」戦略終了後の展開として、令和7年度から、つなぐ・つながる「大原野」づくりプロジェクトを進めています。マルシェ大原野やかかし作りなど、これまでの活動の継続もしながら、交流の場づくりや情報発信など、つながりを生み出すための効果的な手法を模索しながらプロジェクトを進めました。



【役割／関わり方】

大原野地域に関わる新旧のプレイヤーが、交じり合いながら、地域に向けた取組を続けるため、以下を実施しました。

- 「交流の場づくり」の企画立案、参加者呼びかけ、進行補助
- 企画が生まれるきっかけづくりや企画実現に向けての相談対応や助言
- 情報発信の設計やライターやデザイナーのコーディネート、素材の提供

この事業を担当したコーディネーター 木村 響子

【伏見区役所】

区民活動の広がり、つながりづくりに向けたサポート

【事業概要】

伏見区内では、地域活動や市民活動など、区民のみなさんの自主的な活動がさまざまなテーマで取り組まれています。区役所では区民活動支援事業を通じた助成金や広報面などのサポートを実施しながら、区内のさまざまな活動の場に出向き、情報交換や場合によっては相談に乗るなど、小さなやりとりの積み重ねを大切にしている取り組みを進めています。



また、取組を進められているみなさんの活動の広がりや企画運営面での充実に向けて、区役所の持っている情報やネットワークを生かした団体間のつながりづくりを行っています。

【役割／関わり方】

市民活動、地域活動の企画・運営や最初の一步に関するサポート

- 区民活動支援事業への申請書に関するサポート
- 活動の継続や今後の展開に向けた相談、アドバイス
- 区役所の持つつながりを生かして、さまざまな人や活動の接点づくり

区役所と地域のつながりづくりのサポート(区Hubの取組)

【事業概要】

伏見区役所では、地域コミュニティHubの取組として、多様な主体が集い、つながるタッチポイント(場)をつくるための取組をさまざまな形で実施しています。誰もが緩やかにくつろげる心地良い空間「サロンスペース」の設置など、市民の身近な公共空間である区役所庁舎を活用したさまざまな交流の機会、つながりづくりの機会を広げています。



こうした区役所と地域のみなさんのつながりづくり、地域のつながりを生み出す区役所づくりの企画・運営など、区役所のみなさんとともに取り組んでいます。

【役割／関わり方】

区役所のみなさんと一緒に、地域のつながりを生み出す区役所づくりへのサポート

- 地域での連携づくりに向けた、各々の事業へのアドバイスやサポート
- 区役所内部の幅広い分野の部署間の情報共有・連携づくり

この事業を担当したコーディネーター 朝倉 真一

【伏見区深草支所】

深草地域コミュニティ Hub

【事業概要】

深草支所では、「全職員が hub の構成員」の意識のもと、職員自ら積極的に現場に足を運び、地域の実情を把握するとともにそれらの情報を共有し、連携して地域を支援するための組織醸成に取り組んでいる。今年度は特に、地域課題の解決に向けて既に自ら取り組まれている団体や個人の活動場所に出向き、現場で出会う福祉系団体職員や区社協地域支え合い活動創出コーディネーターなどとも一緒に特性や課題を把握し、必要に応じた資源をつなげた。



【役割／関わり方】

地域情報を把握し、共有のしくみや活用策を検討した。

- 職員と現場に出向いて地域情報を把握し、部署の垣根を越えて共有した。
- 協働ミーティングに出席し、特に福祉分野とまちづくり分野の連携を深めた。

現場での一コマ

E-TOKO 深草

【事業概要】

地域企業との連携で始まった「深草いいトコ体感プロジェクト」では、プロの知識や技を体験できる「meetup!セミナー」の開催による地域経済の活性化や、「地域ライター」独自の切り口による地域の魅力発信などに取り組んでいる。今年度は特に、「meetup!セミナー」のエントリー団体の発掘やセミナー企画のアドバイス、開催されたセミナーの情報発信などを通して、事業に関わる方々とのつながりをより深めるとともに、次年度のバージョンアップに向けた検討を進めた。



【役割／関わり方】

企画全般へのアドバイスや、関係者同士のつながりづくりを促進した。

- セミナーの視察や情報発信を通して、エントリー団体の特性を把握した。
- プロの知識や技の魅力がより伝わるセミナーにするためのアドバイスを行った。
- エントリー団体同士が活発に意見を出し合えるよう、交流会の運営を支援した。

この事業を担当したコーディネーター 小林 明音

【伏見区醍醐支所】

醍醐まちづくりカフェ

【事業概要】

醍醐支所では、今年度「醍醐まちづくりカフェ」を実施しました。まちづくりプレーヤーの結節点として、多様な主体の出会い・混じり合いによる新たな活動や既存事業の幅の広がり創出を目的に、3回にわたり醍醐の公園等の公共空間を会場に実施しました。市民活動団体・大学・経済団体・寺社・

図書館等、50を超える個人・団体の方々が、出会い、交流しました。支所事業との連携や、参加者同士のコラボも生まれるなど、今後の発展の機運も高まる内容となりました。



【役割／関わり方】

多様な主体同士が出会い、活動を相互に理解する場づくりへの助言

- 各事業者や、まちづくり活動団体への参画呼びかけ
- 参加者が関係を深められる運営方法について助言
- 当日の参加者同士の出会い・相互理解を深めるためのコーディネート

だいが子育てオープンデー

【事業概要】

醍醐支所では、親子で楽しく遊びながら、地域の子育て支援を知ってもらえる子育てイベントとして「だいが子育てオープンデー」を開催しました。醍醐支所の建物と駐車場を開放し、キッズダンスや、子育て支援団体によるブース、NPOや企業・大学等による体験ワークショップ、子ども食堂等による飲食ブースなど、様々な活動が醍醐支所に集合しました。小学校での総合学習の成果報告や、子どもが自身の夢を発表する「ゆめプレゼンテーション」も実施し、子育てしやすいまち・子どもも主役となるまちづくりが促進されました。



【役割／関わり方】

コンセプト・企画枠組みづくりへの助言、参画団体の発掘や内容調整

- 子育て世代に向け醍醐支所を開放し子育て資源を可視化するコンセプトへの助言
- 参画団体のリストアップ、協力依頼、参画内容の調整
- イベント当日の会場の安全管理・参画団体同士のつながりづくり

この事業を担当したコーディネーター 山田 大地